



生徒の皆さんへ

昨年度に引き続き、皆さんに伝える新たなメッセージとして「校長室だより」を今年度も継続します。日々、学校内外で感じる事、嬉しい事、伝えたいことなどを、ありのままに発行(月1回程度)できたらと考えています。

内容的には皆さんの興味関心とは違う内容もあるかもしれませんが、一読してもらえればうれしく思います。なお、この便りには保護者向けの内容もありますので、生徒の皆さんは本紙の家庭への持ち帰りをお願いします。 室屋 洋一

コロナ禍の信頼とは

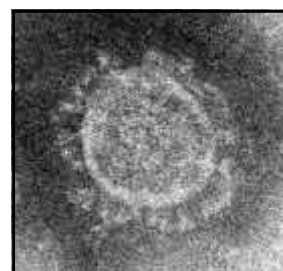
コロナとの戦いは1年以上経過しても、収束するどころか第4波の到来も懸念されている。果たして私たちが直面している危機はウイルスだけなのだろうか。

ウイルスに蔓延に対する有効な手段は、感染状況の的確な把握と感染者の隔離と言われる。それゆえ、中国や韓国などではAI技術を駆使しての協力的監視システムによって拡大防止を行っている。感染防止を理由に、国が個人データの一括管理しているのである。なかには「感染状況を常に把握しており、自由に動けるので安心でいいやり方だ」と思う人もいるかもしれない。しかし、本当にそれでいいのだろうか。確実に言えることは、感染が終息してもデータは残っており、一度立ち上げたシステムは消えることはないだろう。まさしく、健康のためにはプライバシーを犠牲にしてもやむを得ないという風潮なのだろう。

幸い、日本ではこのようなシステムは導入されていないが、残念ながら相手が感染していないだろうかという疑念は常につきまとうのである。そして、このような疑念はひいては信頼関係を脅かすことになりかねない。つまり、私たちが直面している危機は、ウイルスだけでなく、「人どうしの信頼の欠如」ともいえる。人どうしが距離を保ち、疎遠になることから、信頼関係も薄らいでいくかもしれない。そして、信頼の欠如は、やがては人々の分断を産む素因になることを私たちは忘れてはならない。

それらを解決する手段がマスク着用である。マスクは人どうしの信頼を担保するために必要であり、自分のためだけでなく相手のためにも着用すべきなのである。利己心ではなく、利他心をもって感染症の危機を乗り越えるべきである。人どうしの遮断によって、パンデミックを回避させることより、まずは、協力と情報共有によって、危機的な状況を打開していくべきであろう。

歴史的に見れば、人類はペストや天然痘など数々の感染症と闘ってきており、その度に勝利して生きてきている。今回の新型コロナとの戦いもいずれ終息するであろうと歴史学者は史実に基づいて語っている。私たちは今こそアフターコロナをどう生きていくべきかを考える時期に来ている。



われわれの不幸は、待たなくてもやってくる
だが、われわれの幸福は、待つだけでは来ない

～坂村真民～

読書への誘い（本校図書室に置いてある本）

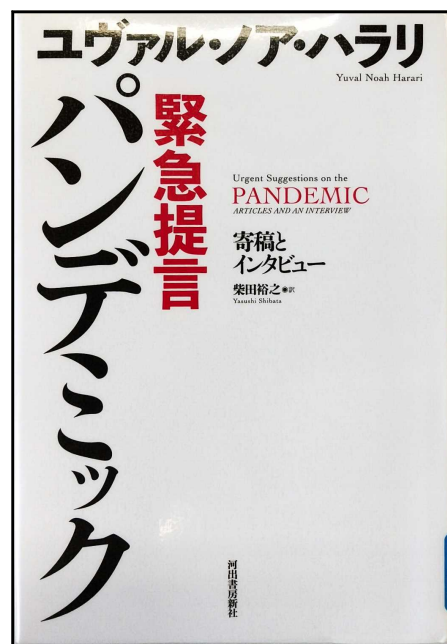
「緊急提言 パンデミック PANDEMIC 寄稿とインタビュー」

ユヴァル・ノア・ハラリ著 柴田裕之 訳 河出書房新社

この書籍は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという一大危機を人類が迎えるなかで、知の巨人といわれる世界有数の歴史学者である著者が緊急に発表した見解を収録したものである。

私たちが直面している最大の危険はウイルスではなく、人類が内に抱えた魔物たち、すなわち、憎悪と強欲と無知だと言い切る。しかし、思いやりや叡智を生み出すような対応や科学を信じて協力するというような対応をすれば、目の前の危機に取り組むことがはるかに易くなるだろうとしている。

私たちはいま、歴史の転換点に立っており、本当に世の中で何が起きているのか、コロナ後にいかに生きるべきかを見つめなおす時期に来ていると著者は述べている。人類の進むべき道は、グローバリズムかナショナリズムのいずれかなのか、もしくは、両方なのかなど、興味深い切り口が多数掲載されている。コロナ禍の現代をより他面的・多角的に眺め、考える機会を与えてくれる良書である。なお、COVID-19の被害者を支援するために、版元が売上金の一部を慈善団体に寄付できるよう、著者は本書の印税を放棄している。なかなか素晴らしい人物である。難しいところもあるかもしれないが、コロナ禍の今こそ、是非とも手に取って一読してほしい一冊である。



保護者の皆様へ

本日、全学年揃っての高校生活スタートしました。ご自宅でのお子様の様子はいかがでしょうか。特に、新入生の保護者の皆様は御心配が絶えないことと拝察申し上げます。保護者の皆様にも、冲高への御理解、御協力をいただくために、稚拙な内容ではありますが、昨年に引き続き今年度も「校長室だより」を御高覧いただければ幸いです。何卒、今後とも、お子様の健やかな成長と冲高の更なる発展、ひいては沖永良部島の繁栄ならびに活性化のために、本校PTA活動を軸に、連携・協力していただきますよう宜しくお願い申し上げます。